



2014年2月期 決算説明資料

2014年4月24日

株式会社スーパーバリュー
(JASDAQ:3094)



1. 当社の概要



- 1) スーパーバリューとは・・・
- 2) 売上・店舗数推移
- 3) 当社の特長
- 4) 基本戦略

① スーパーバリューとは・・・

都市型スーパーセンター

SM

食品スーパー

×

(複合)

HC

ホームセンター

+

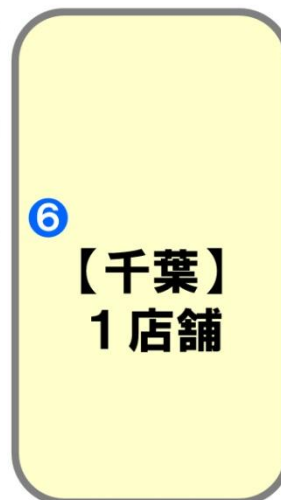
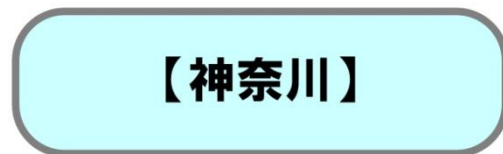
=

SM

食品スーパー



1 スーパーバリューとは・・・



形態別店舗数

	SM+HC 複合	SM+ 一部HC	SM
埼玉	4店	2店	7店
東京	4店	-	5店
千葉	-	1店	-
合計	8店	3店	12店

【埼玉】

- 1 草加店
- 2 越谷店
- 3 戸田店
- 5 春日部武里店
- 8 上尾愛宕店
- 9 川口前川店
- 10 入間春日町店

- 11 東所沢店
- 13 大宮天沼店
- 14 見沼南中野店
- 17 中浦和店
- 21 朝霞泉水店

(2013年9月12日開店)

- 22 飯能店
- (2013年10月9日開店)

【東京】

- 4 練馬大泉店
- 7 杉並高井戸店
- 12 荒川一丁目店
- 15 志茂店
- 16 等々力店

- 18 府中新町店
- 19 国立店
- 20 西尾久店
- 23 品川八潮店

(2014年3月19日開店)

【千葉】

- 6 南船橋店

注) 番号は出店順
店舗数は2014年4月24日現在

② 売上・店舗数推移

売上高の推移（億円）

新規出店 3店舗予定

品川八潮店 2014年3月
埼玉県春日部市 2014年夏
東京都福生市 2014年秋

【1996年3月】
「㈱大川ホームセンター」
設立（同年7月営業開始）

【2006年1月～12月】
経営の効率化と管理の
簡素化を目的として
子会社を吸収合併

【2013年9月】
「Value Plaza 上尾愛宕店」
の土地・建物を売却し、
新たに賃貸借契約を締結

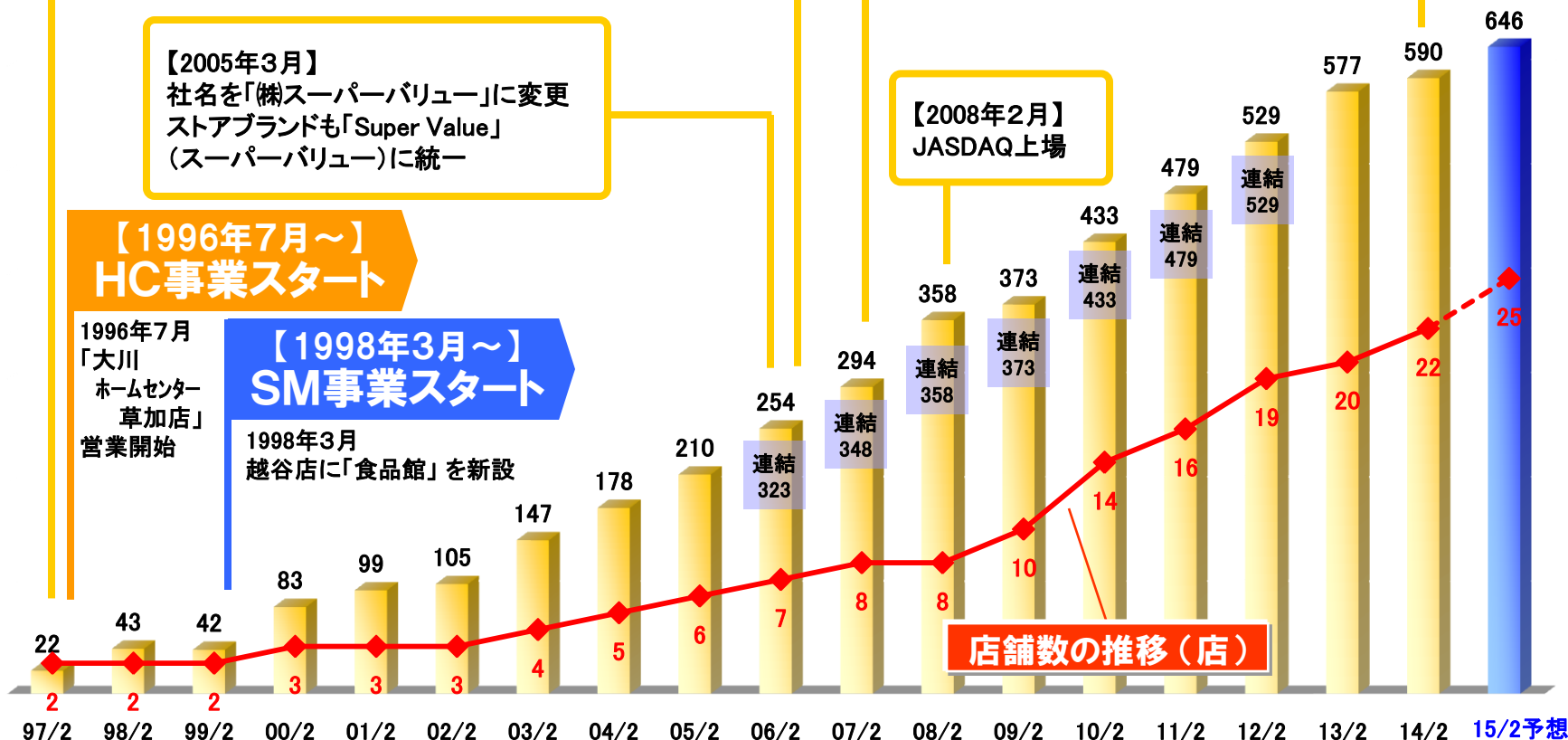
【2005年3月】
社名を「㈱スーパーバリュー」に変更
ストアブランドも「Super Value」
（スーパーバリュー）に統一

【1996年7月～】
HC事業スタート

1996年7月
「大川
ホームセンター
草加店」
営業開始

【1998年3月～】
SM事業スタート

1998年3月
越谷店に「食品館」を新設



店舗数の推移（店）

③ 当社の特長

店舗への
大幅な権限委譲

+

よい商品をより安く

+

幅広い品揃え

強い
集客力

高い客単価

⇒2,368円(2014年2月期)

高い商品回転率

⇒SM 61.9回/年
HC 6.9回/年
(2014年2月期)

高い生産性

⇒1人当たり売上高
30,397千円(2014年2月期)

④ 基本戦略 ローコスト経営

常に競合店を上回る価格競争力

これを実現している
基本戦略

- 売上総利益率を下げて集客と売上を拡大する路線
- これを可能とする「ローコスト経営体質」の追求

【売上総利益率の競合比較】

当社（2014年2月期）		業界平均（競合上場会社）	
SM事業	20.2%	25.0%	SM業界
HC事業	21.9%	30.5%	HC業界

【売上高販管費率の競合比較】

当社（2014年2月期）	業界平均（競合上場会社）
20.0%	26.8% SM業界
	27.3% HC業界

注) 業界平均の数値は、(株)日本経済新聞社「日本の小売業調査」及び「日本の専門店調査」より、当社基準で選定した上位会社及び当社競合会社の有価証券報告書等より集計

2. 決算概況

- 1) 決算ハイライト
- 2) 既存店の状況
- 3) 売上の状況
- 4) 四半期の状況
- 5) コストの状況
- 6) 設備の状況／従業員の状況
- 7) 要約貸借対照表
- 8) 要約キャッシュ・フロー計算書

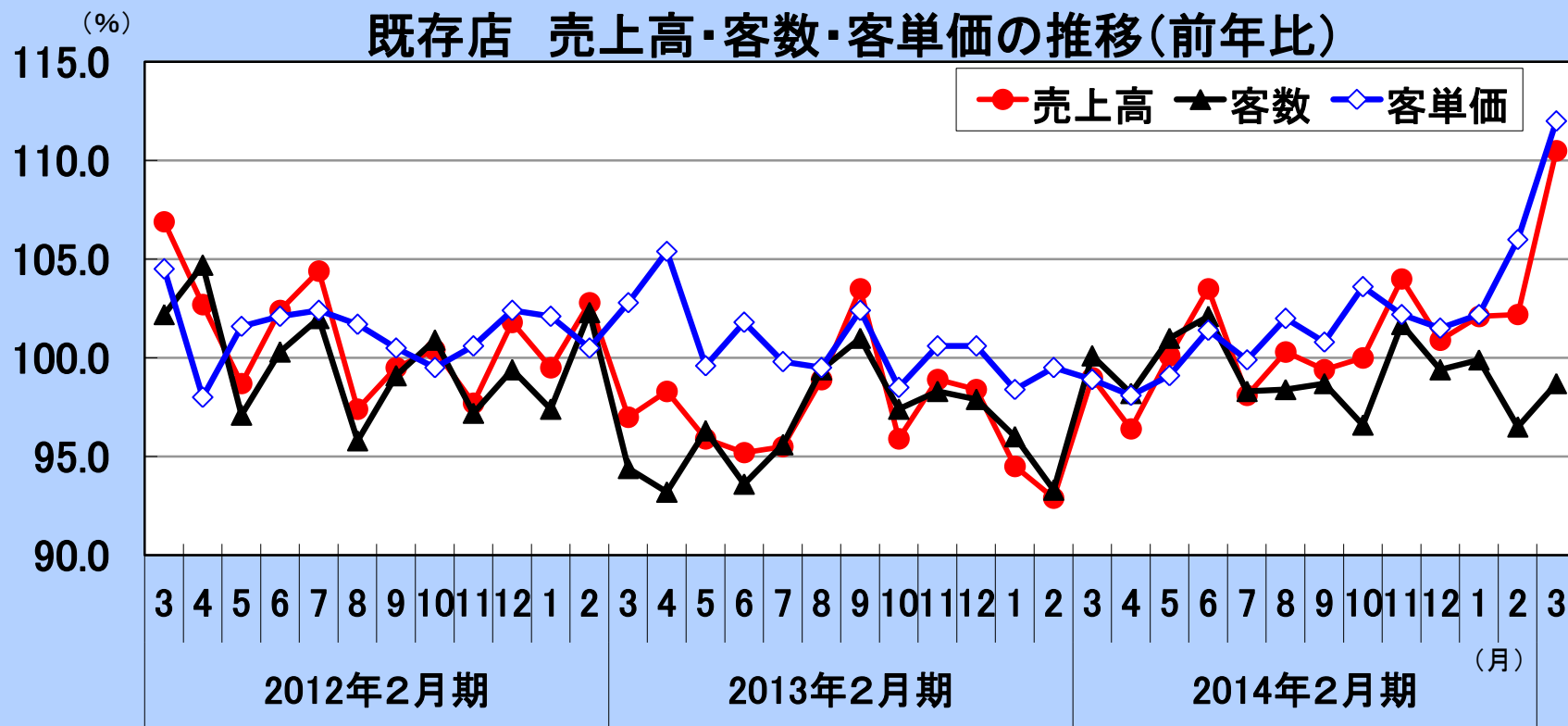
1 決算ハイライト

単位: 百万円、%

<単体>	2012年2月期		2013年2月期		2014年2月期		
		売上比		売上比		売上比	前年同期比
売上高	52,933	100.0	57,720	100.0	59,062	100.0	+ 2.3
売上総利益	10,905	20.6	11,880	20.6	12,152	20.6	+ 2.3
営業収入	292	0.6	270	0.5	300	0.5	+ 11.1
営業総利益	11,198	21.2	12,150	21.1	12,453	21.1	+ 2.5
営業利益	1,071	2.0	899	1.6	652	1.1	△ 27.5
経常利益	1,043	2.0	866	1.5	623	1.1	△ 28.1
特別利益	1	0.0	2	0.0	419	0.7	-
特別損失	187	0.4	-	-	423	0.7	-
当期純利益	486	0.9	504	0.9	370	0.6	△ 26.5
総資産	22,513	-	22,179	-	17,537	-	△ 20.9
純資産	4,105	-	4,556	-	4,918	-	+ 8.0
1株当たり 当期純利益	231.52円	-	239.93円	-	175.81円	-	△ 64.12円
1株当たり純資産	1,947.80円	-	2,163.90円	-	2,326.85円	-	+ 162.95円
1株当たり配当金	24.0円	-	※ 30.0円	-	30.0円	-	0.0円

※ 2013年2月期の「1株当たり配当金」には、記念配当(5.0円)を含んでおります。

② 既存店の状況



出退店の状況

- **出店**：朝霞泉水店(9月)、
(2) 飯能店(10月)
- **退店**：なし
- **改装**：東所沢店・上尾愛宕店(7月)、
(4) 戸田店(9月)、
南船橋店(11月)

既存店 売上高 の状況

2014/2期	前年同期比
既存店売上高	100.5%
客数	99.2%
客単価	101.2%
買上点数	99.2%

③ 売上の状況 事業部門別売上高・売上総利益率

単位:百万円、%

<単体>	2012年2月期			2013年2月期			2014年2月期			
	売上高	売上比	売上総利益率	売上高	売上比	売上総利益率	売上高	売上比	前年 同期比	売上総 利益率
合 計	52,933	100.0	20.6	57,720	100.0	20.6	59,062	100.0	+ 2.3	20.6
SM事業	40,090	75.7	20.4	44,581	77.2	20.3	46,114	78.1	+ 3.4	20.2
生鮮食品	19,603	37.0	23.9	21,891	37.9	23.9	22,964	38.9	+ 4.9	23.7
グロサリー	20,486	38.7	17.0	22,689	39.3	16.8	23,150	39.2	+ 2.0	16.8
HC事業	12,843	24.3	21.3	13,139	22.8	21.6	12,947	21.9	△ 1.5	21.9
第一グループ※	2,681	5.1	24.0	2,818	4.9	24.5	2,788	4.7	△ 1.1	24.7
第二グループ※	2,959	5.6	20.9	3,043	5.3	21.5	2,937	5.0	△ 3.5	21.7
第三グループ※	2,708	5.1	24.0	2,635	4.6	23.5	2,678	4.5	+ 1.6	22.8
第四グループ※	4,450	8.4	18.5	4,608	8.0	19.0	4,527	7.7	△ 1.8	19.7
その他	42	0.1	16.3	32	0.0	16.8	15	0.0	△ 52.8	19.3

※ 2013年11月1日付組織変更に伴い、HC事業の各グループの部門構成を一部変更しております。

なお、2013年2月期以前のHC事業各グループの数値は、2014年2月期の基準に合わせて修正しております。

※「第一グループ」：日曜大工用品、園芸用品、エクステリア用品、リフォーム

「第二グループ」：カー用品、レジャー用品、ペット用品

「第三グループ」：家電製品、対面（時計・カメラ等）、インテリア用品

「第四グループ」：家庭・日用雑貨、文具・玩具、ドラッグ

4 四半期の状況

単位: 百万円、%

<単体>	第1四半期		第2四半期		第2四半期累計		第3四半期		第4四半期		通期合計	
		前年 同期比		前年 同期比		前年 同期比		前年 同期比		前年 同期比		前年 同期比
売上高	14,396	△ 1.4	14,461	+ 0.8	28,857	△ 0.3	14,786	+ 4.3	15,418	+ 5.6	59,062	+ 2.3
SM	11,154	△ 0.9	11,244	+ 1.9	22,399	+ 0.5	11,662	+ 6.2	12,053	+ 6.6	46,114	+ 3.4
HC	3,241	△ 3.1	3,216	△ 2.9	6,458	△ 3.0	3,124	△ 1.9	3,365	+ 2.1	12,947	△ 1.5
売上総利益	3,002	△ 1.0	2,929	+ 0.9	5,931	△ 0.1	3,000	+ 3.3	3,220	+ 5.9	12,152	+ 2.3
SM	2,284	△ 1.1	2,219	+ 2.0	4,504	+ 0.4	2,311	+4.8	2,507	+ 6.9	9,323	+3.2
HC	717	△ 0.6	709	△ 2.5	1,427	△ 1.6	688	△ 1.3	713	+ 2.7	2,829	△ 0.4
売上総利益率	20.9	+ 0.1pt	20.3	0.0pt	20.6	0.0pt	20.3	△ 0.2pt	20.9	+ 0.1pt	20.6	0.0pt
SM	20.5	△ 0.1pt	19.7	0.0pt	20.1	0.0pt	19.8	△ 0.3pt	20.8	+ 0.1pt	20.2	△ 0.1pt
HC	22.1	+ 0.6pt	22.1	+ 0.1pt	22.1	+ 0.3pt	22.0	+ 0.1pt	21.2	+ 0.1pt	21.9	+ 0.3pt
営業利益	276	△ 3.4	105	△ 18.0	382	△ 8.0	△ 22	-	291	△ 11.7	652	△ 27.5
経常利益	281	△ 3.6	98	△ 16.5	380	△ 7.3	△ 73	-	316	△ 1.4	623	△ 28.1
当(四半)期 純利益	174	+ 1.3	58	△ 11.1	232	△ 2.1	212	+ 182.4	△ 74	-	370	△ 26.5

東所沢店改装(7月)
上尾愛宕店改装(7月)

戸田店改装(9月)
南船橋店改装(11月)

朝霞泉水店オープン(9月)
飯能店オープン(10月)

5 コストの状況

単位: 百万円、%

<単体>	2012年2月期		2013年2月期		2014年2月期		
		売上比		売上比		売上比	前年同期比
売上高	52,933	100.0	57,720	100.0	59,062	100.0	+ 2.3
売上総利益	10,905	20.6	11,880	20.6	12,152	20.6	+ 2.3
営業総利益	11,198	21.2	12,150	21.1	12,453	21.1	+ 2.5
販管費 (主なもの)	10,127	19.1	11,251	19.5	11,801	20.0	+ 4.9
広告宣伝費	327	0.62	389	0.67	398	0.68	+ 2.4
人件費	5,094	9.62	5,678	9.84	5,891	9.98	+ 3.8
地代家賃	1,466	2.77	1,566	2.71	1,817	3.08	+ 16.1
リース料	239	0.45	231	0.40	220	0.37	△ 4.8
水道光熱費	514	0.97	638	1.11	703	1.19	+ 10.3
開店一時経費	71	0.13	24	0.04	62	0.11	+ 158.9

売上総利益率: ±0.0pt

△価格競争の激化に対抗した
価格戦略の強化
△円安や原油高騰等の影響に
よる仕入価格上昇

- 値引き・廃棄ロスの最小化
- 物流センターのDC化
(一部商品の備蓄化)
- 高機能・こだわり品の品揃え

販管費率: +0.5pt

- ・人件費の増加
 - ・新卒新入社員の入社
 - ・新店開店に伴うパート、
アルバイトの増加
- ・地代家賃の増加
 - ・新店開店によるもの
 - ・バリュープラザ上尾愛宕店
の賃貸借契約によるもの
- ・水道光熱費の増加
 - ・新店開店によるもの
 - ・電気料金値上げの影響

6 設備の状況／従業員の状況

● 設備の状況

単位: 百万円、%

<単体>	2012年2月期	2013年2月期	前年同期比 増減額	2014年2月期		
				前年同期比 増減額	前年 同期比	
新店・先行投資	1,812	218	-	994	+ 776	+ 355.0
既存店活性化他	440	269	-	587	+ 317	+ 117.6
設備投資計	2,253	488	-	1,582	+ 1,093	+ 223.8
減価償却費	575	796	+ 221	682	△ 114	△ 14.3

- ・新店の出店に係る投資(2店舗)
- ・今後の出店に係る投資(来期出店予定3店舗ほか)

- ・ValuePlaza上尾愛宕店の敷金
- ・店舗改装に係る投資(4店舗)

- ・ValuePlaza上尾愛宕店の建物売却に伴う減少

注) 2012年2月期の設備投資の数値(斜体表示)は、参考として連結数値を表示しております。

● 従業員の状況

単位: 人

<単体>	2012年2月期末	2013年2月期末	前年同期比 増減数	2014年2月期末	
				前年同期比 増減数	
社員	439	476	+ 37	518	+ 42
契約・嘱託・臨時	1,337	1,389	+ 52	1,425	+ 36
合計	1,776	1,865	+ 89	1,943	+ 78

- ・新卒採用活動に伴う新入社員の入社

- ・新店の開店に伴う増加

注) 契約・嘱託・臨時の人員数は、期中平均雇用人数(8時間換算)。

7 要約貸借対照表 ①資産の部

単位:百万円、%

<単体>	2012年2月期		2013年2月期		2014年2月期		
		構成比		構成比		構成比	増減額
流動資産	4,753	21.1	4,430	20.0	4,585	26.1	+ 154
現金及び預金	1,191	5.3	1,121	5.1	1,045	6.0	△ 75
商品	2,704	12.0	2,567	11.6	2,654	15.1	+ 86
固定資産	17,759	78.9	17,748	80.0	12,952	73.9	△ 4,796
有形固定資産	14,456	64.2	14,516	65.4	9,041	51.6	△ 5,474
建物	5,402	24.0	5,237	23.6	2,604	14.8	△ 2,633
土地	8,053	35.8	8,302	37.4	5,392	30.7	△ 2,910
リース資産	561	2.5	772	3.5	873	5.0	+ 101
無形固定資産	33	0.2	40	0.2	24	0.1	△ 15
投資その他の資産	3,269	14.5	3,192	14.4	3,886	22.2	+ 694
差入保証金	2,796	12.4	2,736	12.3	3,374	19.2	+ 638
総資産	22,513	100.0	22,179	100.0	17,537	100.0	△ 4,641

7 要約貸借対照表 ②負債・純資産の部

単位:百万円、%

<単体>	2012年2月期		2013年2月期		2014年2月期		
		構成比		構成比		構成比	増減額
流動負債	9,796	43.5	9,576	43.2	9,167	52.3	△ 409
仕入債務	4,287	19.0	3,969	17.9	4,207	24.0	+ 237
短期借入金	1,950	8.7	1,750	7.9	1,600	9.1	△ 150
1年内返済予定の長期借入金	1,890	8.4	2,022	9.1	1,448	8.3	△ 573
リース債務	170	0.8	241	1.1	299	1.7	+ 58
ポイント引当金	155	0.7	171	0.8	171	1.0	+ 0
固定負債	8,611	38.3	8,045	36.3	3,451	19.7	△ 4,594
長期借入金	7,625	33.9	6,892	31.1	2,139	12.2	△ 4,753
リース債務	450	2.0	611	2.8	692	3.9	+ 80
負債合計	18,407	81.8	17,622	79.5	12,618	72.0	△ 5,004
純資産合計	4,105	18.2	4,556	20.5	4,918	28.0	+ 362
負債・純資産合計	22,513	100.0	22,179	100.0	17,537	100.0	△ 4,641
有利子負債合計	11,466	50.9	10,665	48.1	5,188	29.6	△ 5,477

注)有利子負債合計には、リース債務を含んでおりません。

8 要約キャッシュ・フロー計算書

※ 2013年2月期より非連結決算に移行しているため、2012年2月期の数値は表示しておりません。

単位:百万円

<単体>	2012年2月期	2013年2月期	2014年2月期	
				増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	－	1,508	1,293	△ 214
税引前当期純利益	－	869	618	△ 250
減価償却費	－	796	682	△ 114
固定資産売却損益(▲)	－	－	△ 417	△ 417
減損損失	－	－	412	+ 412
たな卸資産の増(▲)減額	－	140	△ 99	△ 239
仕入債務の増減(▲)額	－	△ 318	237	+ 556
投資活動によるキャッシュ・フロー	－	△ 500	4,446	+ 4,946
有形固定資産の取得による支出	－	△ 398	△ 694	△ 296
有形固定資産の売却による収入	－	－	6,039	+ 6,039
差入保証金の差入による支出	－	△ 87	△ 888	△ 800
財務活動によるキャッシュ・フロー	－	△ 1,077	△ 5,815	△ 4,738
短期借入金の純増減(▲)額	－	△ 200	△ 150	+ 50
長期借入金の純増減(▲)額	－	△ 600	△ 5,327	△ 4,726
現金及び現金同等物の増減額	－	△ 69	△ 75	△ 6
現金及び現金同等物の期末残高	－	1,121	1,045	△ 75



▶▶▶ ● 3. 業績予想と取り組み ▶▶▶

- 1) 通期業績予想
- 2) 今後の取り組み
 - ① 出店戦略
 - ② 2015年2月期のテーマ
 - ③ 継続取り組み事項

1 通期業績予想

単位：百万円、%

<単体>	2013年2月期		2014年2月期		2015年2月期(予想)		
		売上比		売上比		売上比	前年 同期比
売上高	57,720	100.0	59,062	100.0	64,600	100.0	+ 9.4
売上総利益	11,880	20.6	12,152	20.6	13,475	20.9	+ 10.9
営業利益	899	1.6	652	1.1	660	1.0	+ 1.2
経常利益	866	1.5	623	1.1	746	1.2	+ 19.7
特別損益	2	0.0	△ 4	-	-	-	-
当期純利益	504	0.9	370	0.6	442	0.7	+ 19.3

● 新規出店：3店予定

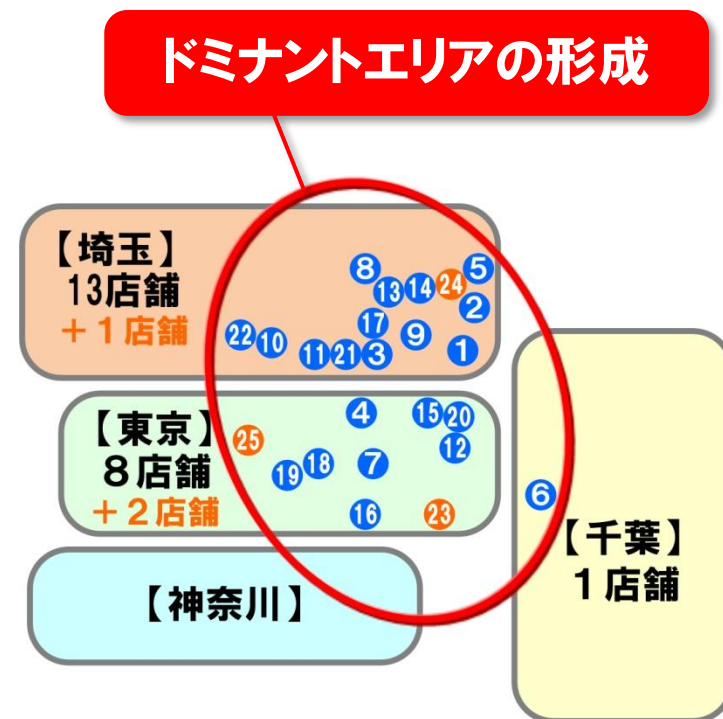
品川八潮店 複合店	東京都品川区	2014年3月19日開店
SM店	埼玉県春日部市	2014年夏開店予定
SM店	東京都福生市	2014年秋開店予定

● 店舗改装：越谷店HC館 増床 2014年4月

● 既存店売上高：+0.8%

② 今後の取り組み ①出店戦略

- 確実な需要が見込める市街地への出店
 - ◆ 1都3県(埼玉県・東京都・千葉県・神奈川県)の市街地・人口密集地をターゲットに「ドミナント出店」
- 一店一店の収益性・効率性・地域性を重視し、独自の出店基準に基づいた無理のない出店
 - ◆ 売場構成・品揃え・店舗サービスなど、出店地域にあわせた柔軟な店舗フォーマット
- 新規出店は年間3～4店舗を目標
 - ◆ 2015年2月期は、3店舗を出店予定
 - ◆ 居抜物件への出店も検討
 - ◆ SM・HC複合店の出店



② 今後の取り組み ②2015年2月期のテーマ

「スーパーバリューらしさ」の再徹底

～「お客様目線」でよりご支持いただける店舗づくり

● 価格・商品戦略 ⇒収益性の改善

- ◆「よい商品をより安く」の徹底追及
- ◆ 高機能・こだわり商品の充実(価値に見合った価格設定)
- ◆ できたて・作りたて商品の提供
- ◆ SM・HC複合のメリットを活かした売場

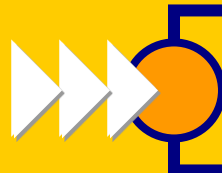
● 店舗運営戦略 ⇒生産性の向上

- ◆ お客様のニーズに合わせたきめ細かい店舗づくり
- ◆ 変化への柔軟・迅速な対応
- ◆ ムダ・非効率の徹底排除(ヒト、モノ、時間)

② 今後の取り組み ③ 継続取り組み事項

● 継続して取り組むこと

- ◆ 仕入先の見直し、仕入条件の改善
- ◆ 物流センターのより効果的な活用(DC商品の拡充)
- ◆ 従業員による気持ち良い対応
- ◆ お買い物しやすい売場(回遊性の向上)
- ◆ 高齢化社会に向けたやさしい店舗づくり
 - ⇒ “見やすい”・“分かりやすい”商品陳列と価格表示
 - ⇒ 一人用・二人用など小分け商品の充実
- ◆ 現金ポイントカードを活用した販促活動

Three white arrows pointing right, followed by an orange circle with a blue outline.

参考情報



- 1) 店舗の状況
- 2) 新店紹介(朝霞泉水店・飯能店)

1 店舗の状況

売場面積 140坪(大宮天沼店)～3,650坪(上尾愛宕店)

駐車場 10台(等々力店)～1,330台(上尾愛宕店)

営業時間 10:00*～20:00(又は21:00) *一部店舗は7時又は9時

<西尾久店(SM店)>

店舗外観



店内



2 新店紹介

朝霞泉水店 SM店（2013年9月12日開店）



飯能店 SM店（2013年10月9日開店）





この資料は投資家の参考に資するため、株式会社スーパーバリュー（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2014年4月24日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問合せ先



株式会社スーパーバリュー 社長室

TEL : 048-778-3222

E-MAIL: ir@supervalue.co.jp